

令和6年  
1月30日開講

# 実務者研修 講座

平成28年度(平成29年1月)介護福祉士国家試験から受験資格として

《実務経験3年》に加えて《実務者研修の修了》が義務付け！！

※《実務経験3年》とは、期間が1095日以上でその期間中に仕事をした従事日数が540日以上であることとなります。

## カリキュラム

※使用テキスト 中央法規 介護福祉実務者研修テキスト第1巻～5巻  
※オリエンテーション時に教科書・添削問題集をお渡しします。

	通学日	研修時間	研修内容	受講時間数
第1回	1月30日	9:00~9:30 9:30~15:30	オリエンテーション 介護過程Ⅲ①	45.5時間
第2回	2月13日	9:00~15:30	介護過程Ⅲ②	
第3回	3月12日	9:00~15:40	介護過程Ⅲ③	
第4回	3月26日		介護過程Ⅲ④	
第5回	4月23日		介護過程Ⅲ⑤	
第6回	5月7日		介護過程Ⅲ⑥	
第7回	5月21日		介護過程Ⅲ⑦	
第8回	6月4日		介護過程Ⅲ⑧	
第8回 のうち1日間 (3人/1日)	6月18日	9:00~17:00	医療的ケア 口腔内の嚥食及び 鼻腔内の嚥食及び 気管カニューレ内部の嚥食及び 胃ろう又は腸ろうによる経管栄養 経鼻経管栄養 各5回	10時間
第9回	7月23日	9:00~12:00	医療的ケア(演習) 救急蘇生法	55.5時間
	(日休憩 12:00~13:00)			

※実務者研修の在籍期間は6ヶ月の為、修了書の発行は令和6年7月30日以降となります。

## 受講料

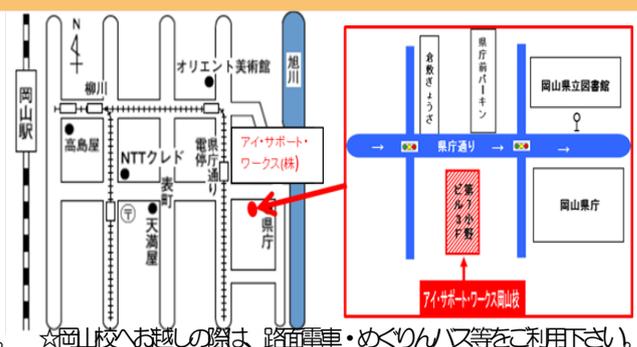
※消費税込

保有資格	受講料
無資格・ヘルパー3級	¥153,000 ➡ ¥73,000
初任者・ヘルパー2級	¥142,000 ➡ ¥71,000
ヘルパー1級	¥104,000 ➡ ¥70,000

## お問合せ先・受講場所

アイ・サポート・ワークス株式会社アイ・サポート・ワークス岡山校  
〒700-0824 岡山市北区内山下2-2-2 第7小野ビル3F  
TEL 086-221-2282 FAX 086-221-2283  
HP : <http://i-suppo.com>

注：駐車場はございません。お近くのコインパーキング等へ駐車して下さい。



☆岡山校へお越しの際は、路面電車・めぐりんV等をご利用下さい。

# 本講座のメリット

- ① 通学全9日間(2回/月) + 自宅学習 で習得。
- ② 自宅学習(添削問題)を取り入れ、働きながら楽々資格取得。☆各科目を決められた期日を目安に提出していただきます。
- ③ 受講料の負担が軽減できる、助成金活用制度あり。(条件を満たせば対象)  
助成金申請書類は、サポート致します。お問合せ下さい。
- ④ 訪問介護事業所のサービス提供責任者になれます。
- ⑤ 喀痰吸引、経管栄養の方法が学べます。  
〈修了後、実地研修を受け、県へ認定証申請(受講生各自)が必要です。〉

※実地研修は指導看護師のもとに、就業施設にてお願い致します。

★保有資格により免除科目が異なります。

		保有資格				
実務者研修科目名称		無資格	ヘルパー3級	初任者研修	ヘルパー2級	ヘルパー1級
自宅学習 ( )内は 目安時間	人間の尊厳と自立(5)	○	免除	免除	免除	免除
	社会の理解Ⅰ(5)	○				
	社会の理解Ⅱ(30)	○	○	○	○	
	介護の基本Ⅰ(10)	○	○	免除	免除	
	介護の基本Ⅱ(20)	○	○	○		
	コミュニケーション技術(20)	○	○	○	○	
	生活支援技術Ⅰ(20)	○	免除	免除	免除	
	生活支援技術Ⅱ(30)	○	○			
	介護過程Ⅰ(20)	○	○	○	○	
	介護過程Ⅱ(25)	○	○	○	○	
通学	介護過程Ⅲ(45時間)	○	○	○	○	○
自宅学習 ( )内は 目安時間	こころとからだのしくみⅠ(20)	○	○	免除	免除	免除
	こころとからだのしくみⅡ(60)	○	○	○	○	
	発達と老化の理解Ⅰ(10)	○	○	○	○	
	発達と老化の理解Ⅱ(20)	○	○	○	○	
	認知症の理解Ⅰ(10)	○	○	免除	○	
	認知症の理解Ⅱ(20)	○	○	○	○	
	障害の理解Ⅰ(10)	○	○	免除	○	
	障害の理解Ⅱ(20)	○	○	○	○	
	医療的ケア(50)	○	○	○	○	
通学	医療的ケア(実習)10時間	○	○	○	○	○
通学日数		9日	9日	9日	9日	9日
訓練総時間(オリエンテーション含)		55.5時間	55.5時間	55.5時間	55.5時間	55.5時間

※原則、表面の日程通りに通学をして頂きますが、災害等により、

通学日の延期・変更・休講などの可能性がございますので、ご了承ください。

※添削問題は、自宅学習目安時間に基づき、弊社で用意した問題集を各科目行うものとします。

(人間と尊厳と自立5問、社会の理解Ⅰ5問、社会の理解Ⅱ10問、介護の基本Ⅰ5問、介護の基本Ⅱ10問、コミュニケーション技術10問、生活支援技術Ⅰ10問、生活支援技術Ⅱ10問、介護過程Ⅰ5問、介護過程Ⅱ大問2問、こころとからだのしくみⅠ5問、こころとからだのしくみⅡ10問、発達と老化の理解Ⅰ5問、発達と老化の理解Ⅱ10問、認知症の理解Ⅰ5問、認知症の理解Ⅱ10問、障害の理解Ⅰ6問、障害の理解Ⅱ9問、医療的ケア120問) ☆問題形式は、記述・穴埋め・選択問題です。

※第7回実施実技試験・添削問題各科目は、

70点以上で合格とし、不合格の場合は再試験・再提出になります。

※講座や添削問題等に関する質問等は、状況に応じて対応します。(電話・リモート等でも可)